



やまざき

学校だより9月号
世田谷 杜の学び舎
世田谷区立山崎小学校
校長 小池 慎一
令和8年 8月31日

山崎小ホームページはこちら <http://school.setagaya.ed.jp/yaki>

「山崎の夏」2026

校長 小池 慎一

毎年9月の学校便りのタイトルは「山崎の夏」です。山崎小学校の暑い熱い夏休みの様子はここで伝えなければお伝えする機会がありません。みなさんに知ってほしい「山崎の夏」なのです。「山崎の夏」は毎年5年生の「夏季舟形交流」から始まります。舟形との交流は今年39年目を迎えました。7月17日に終業式を終えて、その翌日18日から5年生は2泊3日山形県舟形町を訪れました。舟形では2泊3日ホームステイ、または集団ステイでお世話になります。初めての宿泊学習。初めての舟形の町、舟形の友達、舟形のお父さんお母さん。楽しい気持ちと共に仲良くなれるかな～と心配も当然わいてきます。そんな5年生に、昨年度経験した6年生が事前に「舟形交流バトンタッチ」を行いました。舟形交流という40年近く続けてきた大きなバトンを、6年生が5年生に託すと共に、この交流がどんなに素晴らしい思い出になるかを熱く語ってくれるのです。それを受けて不安な気持ちが和らぎ、楽しい気持ちが倍増します。そうして訪れた舟形。最初の緊張はどこへやら、あっという間に仲良くなっていました。お天気が心配でしたが、今年も舟形小学校の目の前を流れる鮎が住む小国川で川遊びが出来ました。川遊びのあとに振る舞われる「焼き鮎と尾花沢スイカ」のおいしさは生涯忘れられないでしょう。二泊三日、舟形のお父さんお母さんに愛情をたっぷり注いでもらい、舟形の友達と友情を育んだ子供たちのお別れの時、ある子が言いました。「友達とはまた秋に東京で会えるけど、舟形のお父さんお母さんとはこれでお別れだと思うと寂しい」と。そこまで感じられる心が育つ舟形交流ってやっぱりすごいなと再確認です。秋には山崎小で心を込めたお迎えをします。6年生の日光林間学園もみんな力で合わせて大成功。夏の日光、それなりに暑いですが、しかし、6年生ついています。今年は今までで一番涼しい最高の日光でした。山崎の夏の最後を締めくくるのは、「スペシャルお話し会」と「やまざき子ども祭り」学校運営協議会の皆さんと朝読書ボランティアの皆さん、地域の皆さん、PTA、メンズクラブの皆さん、本校の教職員が山崎の子どもたちを楽しませようと惜しみない愛情を注いでくれます。以前、祭りの後「私たちのために楽しいことをしてくれてありがとう」と言いに来てくれた子たちがいました。大人の温かい心が子供の心を温かくする。なんて素敵なことでしょう。山崎の子は幸せです。「山崎の夏」は今年も熱く素敵な夏でした。

9月「人格の完成を目指して」のテーマは『 勇気 』です。

恒例 山崎こどもまつり 8月29日(土)

今年も「山崎こどもまつり」も盛大に開催されました。当日は、多くの子どもたちが参加し、輪投げやストラックアウトなどの楽しい催しを、子どもたちが思いっきり楽しんでいました。さらに、山崎太鼓やメンズ太鼓、職員による楽しい出し物もあり会場は大盛り上がり。観客のみなさんもノリノリで手拍子をして素晴らしい一体感が生まれていました。

夏休み最後の土曜日は「山崎こどもまつり」の大成功で終了し、夏休みの楽しい思い出ができました。ご参加いただいた皆様、準備をしていただいた皆様、ありがとうございました。



メンズクラブの花火の様子